



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	第15回オンライン観光創造フォーラム「自治体が主体的にコンテンツツーリズム目的地＝聖地を創ることは可能か? : アニメ『邪神ちゃんドロップキック』の地域コラボ事例から考える」ポスター
Description	第15回オンライン観光創造フォーラム「自治体が主体的にコンテンツツーリズム目的地＝聖地を創ることは可能か? : アニメ『邪神ちゃんドロップキック』の地域コラボ事例から考える」。2022年11月25日(金)18:30~20:00。北海道大学観光学高等研究センター。オンライン。
Issue Date	2022-11-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/87296
Rights	【掲載アニメーション画像の権利表記】 © ユキヲ・COMIC メテオ／邪神ちゃんドロップキック' 製作委員会 © ユキヲ・COMIC メテオ／邪神ちゃんドロップキックX製作委員会
Type	other
File Information	OnLineForum15.pdf





© ユキヲ・COMIC メテオ／邪神ちゃんドロップキック X 製作委員会

北海道大学観光学高等研究センター 第15回(2022年度 第6回) オンライン観光創造フォーラム

自治体が主体的にコンテンツツーリズム目的地 = 聖地を創ることは可能か？

アニメ『邪神ちゃんドロップキック』の地域コラボ事例から考える

◆従来のコンテンツツーリズム事例のほとんどは、「運よくロケ地・舞台地になったことによる結果としての観光ブーム」であり、そこでの議論も「成功作品を自治体はどう活用するか？」というものでした。では、そうした受け身の議論ではなく「自治体が主体的にコンテンツツーリズム目的地=聖地を創ること」は可能なのでしょうか？◆2019年から始まったアニメーション作品『邪神ちゃんドロップキック』では、ふるさと納税制度を活用し、千歳市・釧路市・帯広市・南島原市・富良野市とそれぞれ協働し、観光振興を目的として地域を舞台としたアニメーション製作が行われ、テレビアニメとして放映されました。◆今回の講演では、同作品の宣伝プロデューサーである柳瀬一樹氏をお招きし、これら事業の一連の経緯、マーケティング戦略、2000件を超えるファンアンケートの結果等について、アニメ製作者の立場からご講演を頂きます。そのうえで、コンテンツを活用した地域における観光創造の可能性(アニメ観光創造の可能性)について、実務面・学術面の双方から検討をしてみたいと思います。そして、これまでコンテンツツーリズム研究において議論されてきた「地域×製作者×ファンのトライアングルモデル」の課題を批判的・建設的に検討したいと思います。



© ユキヲ・COMIC メテオ／邪神ちゃんドロップキック X 製作委員会

【講師】柳瀬 一樹氏 『邪神ちゃんドロップキック』宣伝プロデューサー

【司会】山村 高淑 北海道大学観光学高等研究センター 教授

2022年 11月25日(金) 18:30~20:00

定員100名 | 先着順 | 参加無料

ウェビナー形式(オンライン)で開催します。参加にはzoomでの接続が必要です。

詳細情報・参加申込み
はこちらから



【主催・お問い合わせ】北海道大学観光学高等研究センター [online-forum\(at\)cats.hokudai.ac.jp](mailto:online-forum(at)cats.hokudai.ac.jp)

* (at) 部分を@に置き換えてご送信ください。* タイトルに「観光創造フォーラムについて」とご記載ください。

詳細情報・参加申込み <https://www.cats.hokudai.ac.jp/topic/view.php?id=20221011134549&page=1>



北海道大学